

氏名 葛城 翔太 法科大学院等の在籍年次 3 年次

*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながら書き込んでいってください。文字数及び頁数に制限はありません。

*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

1 受入事務所と滞在期間

萬国法律事務所（Formosa Transnational Attorneys at Law）

滞在期間は8月22日～9月13日（8月22日と9月13日は移動日）

2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

事務所は一般的な訴訟から企業法務まで幅広い業務を行っていました。事務所内ではA～Cの3部に分かれており、A部では一般的な民事・刑事・行政訴訟を専門的に取り扱っており、B部では主に非訟、C部では知的財産について専門的に取り扱っていました。もっとも、これは絶対的なものではなく、B部やC部の弁護士であっても、訴訟に関与することはあります。事務所には約150名程度の方が所属しており、弁護士、パラリーガル、秘書、特許士（日本でいう弁理士）、で構成されています。

インターンシップの内容としては、契約書等の和訳チェックや様々な会議・セミナーへの参加、無料法律相談に同席、裁判所での裁判傍聴等です。この中には、日本語で行われるものもあれば、中国語で行われるものもありました。

3 宿舎及びその他の生活環境について

滞在期間中は事務所からMRT（台湾の地下鉄）で15分ほどの場所のホテルに宿泊しました。台湾は比較的治安が良いので、ドミトリやアパートメントでも十分に生活をする事ができると思います。ホテルの周りには、日本にもあるようなコンビニや飲食店が多く、食

事に困ることはありませんでした。また、私が宿泊していた場所は日本企業の駐在員が多くいるところということもあり、日本語が通じる飲食店が多くあり、また日本語が通じなくても、簡単な英語であれば十分な意思疎通ができるので、注文に困ることはありませんでした。

4 出発に向けた準備等について

3Lということもあり、語学に関する事前準備は、司法試験の勉強との兼ね合いもあり、しませんでした。しかし、前期に中国法を履修して、中国法、台湾法、香港法については一応勉強しました。また、中国語については、学部のころに勉強していた知識を頼りにしていました。

5 インターンシップに要した費用

往復の航空券代として約3万円（学校の補助あり）、宿泊費として11万円、台湾での生活費として約5万円でしたので、計20万円程でした。前述したように、ホテルでなくても十分に生活できると思われるので、宿泊費はもっと抑えられると思います。

6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

萬国法律事務所の弁護士（特にB部とC部）は、中国語・英語・日本語を話すことができるので、会話をするときには語学面で苦労することはありませんでした。しかし、中国語で行われる所内の会議においては、中国語のヒアリングができなければ、全く理解できません（もっとも、高度なヒアリング能力は不要であり、単語が聞き取れるレベルでよいと思われる）。また、買い物や食事、観光をするときにも、中国語を単語だけでも話せるほうが、困ることは少ないと思います。

勉強面については、台湾法の勉強をした方がいいと思います。台湾は、中国大陆の法律の影響と、日本統治時代の法律の影響を受けているので、日本法と微妙に異なっている点が多々あります。その点を少しでも勉強しておく、より有意義なインターンになると思います。

7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

3Lの前期に履修していた中国法で、現在の法律実務では、アメリカではなく、中国・台湾のクライアントが多く、そこに仕事があると聞いていましたが、実際に事務所でインター

ンをしていると、多くの日本企業がクライアントとなっており、中国語ができることは将来弁護士として仕事をするうえで、ほとんど必須になっていると感じた。萬国法律事務所は台湾の中でもトップクラスの事務所で、様々な分野の事件を取り扱っているので各自の興味や専門に応じて勉強することができます。

また、日本にいただけでは決して触れることができない海外における法律実務に触れることは、将来の進路・キャリア形成にとって非常に有意義であると思います。そして、海外で長期間生活することもいい経験になると思います。

司法試験まで1年をきった3Lの夏休みに、約3週間を台湾で過ごしましたが、机上で勉強しているだけでは決してすることができない経験ができました。そして、今回のインターンで、法曹になることに対するモチベーションが上がりました。また機会があれば、もう一度海外インターンに参加したいと思います。

以上